

岐阜工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	倫理
科目基礎情報						
科目番号	0070		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械工学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	教科書および資料集として、『倫理』（東京書籍）、『最新図説倫理』（浜島書店）を指定する。その他、必要に応じて学習材(プリント等)を配布する。					
担当教員	小早川 裕悟					
到達目標						
1.日本を含む世界の宗教について理解できる。 2.世界の哲学者が示した思想について理解できる。 3.聞き手を考えたプレゼンテーションなどを行い、現代の倫理的諸問題について自ら考え、その考えを論理的に聞き手に伝えることができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標1	日本及び世界の宗教に関する問題を正しく答えることができる。		日本及び世界の宗教に関する問題をおおむね正確に答えることができる。		日本及び世界の宗教に関する問題を答えることができない。	
到達目標2	世界の哲学者が示した思想に関する問題を正しく答えることができる。		世界の哲学者が示した思想に関する問題をおおむね正確に答えることができる。		世界の哲学者が示した思想に関する問題を答えることができない。	
到達目標3	プレゼンテーションにより、現代の倫理的諸問題に対して自ら思考し、論理的に説明することができる。		プレゼンテーションにより、現代の倫理的諸問題に対して自ら思考し、説明することができる。		プレゼンテーションにより、現代の倫理的諸問題に対して自ら思考し、説明することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	倫理とは、思想だけではなく、現代社会や環境問題などの現代の問題とも結びつく学問である。 前期授業では、様々な宗教や思想などを学び、人権や幸福などが保障されている現代国家及び人間形成といかに結びついているかを理解する。後期授業では、現代の諸問題を具体的にに取り上げ、グループワークなどに取り組むことにより、倫理的思想が与えている影響を学生自身が考え、学生の倫理的思考力の定着を図る。また、発表では、各自で課題を設定し、パワーポイントを作成する。そのため、発表内容はもちろんのこと、聞き手を意識した取り組みや意識が求められる。 以上により、倫理を題材とした様々な思想の定着により、現代社会において発生する事象を様々な視点からの分析ができるようになることを本授業の目的とする。さらに、プレゼンテーションを通して、今日の技術者に求められる多様な観点からの分析と自らの考えを的確に伝える力を養成する一助となることも目的の1つとして設定する。					
授業の進め方・方法	本授業は、教員による講義やグループワーク・プレゼンテーションなどのアクティブ・ラーニングを組み合わせ、倫理の基本的知識・考えを習得する。 英語導入計画：なし					
注意点	前期の授業内容を後期で使用することや発表内容を定期試験で出題することもあるため、授業内容・発表内容をノートにとることを推奨する。また、グループワークなどにおいては教員の指示をしっかりと聞き、教員の要求に対応していくことが必要となる。 学習・教育目標：（A－1）100%					
授業計画						
前期	1stQ	週	授業内容		週ごとの到達目標	
		1週	前期授業ガイダンス及びアイデンティティ＜ALのレベルC＞		アイデンティティとは何かを理解する。	
		2週	古代ギリシア思想 1＜ALのレベルC＞		ソクラテスの思想を理解する。	
		3週	古代ギリシア思想 2＜ALのレベルC＞		プラトンとアリストテレスの思想を理解する。	
		4週	キリスト教＜ALのレベルC＞		キリスト教の基本的思想を理解する。	
		5週	イスラム教＜ALのレベルC＞		イスラム教の基本的思想を理解する。	
		6週	仏教＜ALのレベルB＞		仏教の基本的思想を理解し、3大宗教が現代世界に与えている影響を考察する。	
		7週	中国の思想と日本への影響＜ALのレベルB＞		中国の思想を理解し、中国の思想が日本に与えた影響を検討する。	
	8週	中間試験				
	2ndQ	9週	近代科学の成立（デカルト、ベーコン）＜ALのレベルC＞		近代科学の成立をデカルトやベーコンの思想から理解する。	
		10週	社会契約説 1（絶対王政、市民革命、ホブズ）＜ALのレベルC＞		絶対王政の崩壊の過程を思想面から理解する。	
		11週	社会契約説 2（ロック、ルソー）＜ALのレベルC＞		絶対王政後に現われた社会契約説を理解する。	
		12週	人格の尊厳（カント、ヘーゲル）＜ALのレベルC＞		カント、ヘーゲルの思想を理解し、現代の人権思想に結びつける。	
		13週	功利主義（アダム・スミス、ミル）＜ALのレベルC＞		アダム・スミス、ミルの思想を理解し、現代経済に結びつける。	
		14週	社会主義（マルクス）＜ALのレベルC＞		マルクスの思想を学び、資本主義との違いを理解する。	
		15週	現代国家への影響＜ALのレベルB＞		それぞれの思想が現代国家に与えた影響を考察する。	
16週						
後期	3rdQ	1週	後期授業ガイダンス及び日本における倫理的思想の導入＜ALのレベルC＞		「八百万神」などの日本人独特の宗教観を理解する。	
		2週	日本の宗教 1（古代～中世）＜ALのレベルC＞		中世期における日本の仏教の違いを理解する。	
		3週	日本の宗教 2（近世～近代）＜ALのレベルC＞		江戸期以降における日本の思想の変遷を理解する。	

		4週	日本の思想 1（近代）＜ALのレベルC＞	明治期以降の西洋思想の流入による思想の変遷を理解する。
		5週	民主社会における人間のあり方（2）（ALのレベルC）	戦前と戦後の日本における思想の違いを理解する。
		6週	デカルトの思想 1 ＜ALのレベルB＞	デカルトの思想が、映画の中でどのように反映されているかを考える。
		7週	デカルトの思想 2 ＜ALのレベルA＞	デカルトの思想が、映画の中でどのように反映されているかを考え、発表する。
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	現代の倫理的諸問題 1（生命倫理）＜ALのレベルC＞	現代社会における生命倫理上の問題を理解する。
		10週	現代の倫理的諸問題 2（社会生活）＜ALのレベルC＞	現代社会における社会生活上の問題を理解する。
		11週	現代の倫理的諸問題 3（環境）＜ALのレベルC＞	現代社会における環境上の問題を理解する。
		12週	現代の倫理的諸問題 4（グループワーク）＜ALのレベルB＞	現代社会における倫理的諸問題について、学生各自が考え、解決策を導き出す。
		13週	プレゼンテーション 1 ＜ALのレベルA＞	学生各自が設定した倫理的諸問題を調査し、パワーポイントによる報告により、倫理の知見を深める。
		14週	プレゼンテーション 2 ＜ALのレベルA＞	学生各自が設定した倫理的諸問題を調査し、パワーポイントによる報告により、倫理の知見を深める。
		15週	プレゼンテーション 3 ＜ALのレベルA＞	学生各自が設定した倫理的諸問題を調査し、パワーポイントによる報告により、倫理の知見を深める。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民的分野	人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。	2	前14,後4,後5
		現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	2	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15	
	工学基礎	グローバル化・異文化多文化理解	グローバル化・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	前7,前10,前11,前12,後11,後12,後14
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後14

評価割合

	試験	課題・報告	ノート提出	合計
総合評価割合	140	40	20	200
前期	70	20	10	100
後期	70	20	10	100